

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日		～	令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日		～	令和7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられている	毎日3講座実施し、実態に合わせた内容の講座に参加してもらうことで、得意を伸ばす支援を行うと同時に個別支援で苦手や課題を克服する支援を行っている。	教室内で研修を頻繁に実施し、すべてのスタッフが専門性を高め、教室全体として専門性のある支援を実施できるようにする。
2	非常災害の発生に備えて、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っている	定期的に避難訓練を行い、なるべく多くの生徒が参加できるように日時を工夫している。	毎年スタッフのみでの避難訓練や避難グッズの見直しを行っていることで、災害時に備えていく。
3	定期的に通信やホームページ・SNS等で活動概要や行事予定を発信している	毎日保護者様に活動の様子を写真で伝えている。	通信を多くの相談支援事業所へ送ったり、SNSを活用してより広く活動を知ってもらえるよう取り組んでいく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げる	ハッピーテラス本部に訪問してもらい評価してもらっているが、すべて業務改善に繋がっているわけではない。	評価してもらった内容を全スタッフで共有し、改善できることから改善していく。
2	保護者同士で交流できる機会を設ける	情報交換会や講演会などを開催している。参加者は少ない。	今後開催を続け、より多くの保護者様に来ていただけるよう内容の精査や、周知の仕方を工夫していく。
3	子どもが自己選択できるような支援の工夫等、自己決定する力を育てるための支援を行っている	自己選択、自己決定の場面が少ない。	土曜日イベントで外食へ行った際、注文や支払いを自分で行う練習をしたり、調理実習で自分の食べるものは自分で作ったりする経験を積み重ねられるよう機会を設けている。今後もそういった機会を増やしていく。